

頁	内容
P37	<p>誤) 「アメリカで広まったドッグフード」(本文の最後の3行) キャットフードの開発は犬より遅く、缶詰タイプが1950年代、ドライタイプは1970年代に入ってから販売されるようになりました。 「日本でフードが製造されたのは1960年」 日本では、1950年代頃にはアメリカからドッグフードが輸入されていましたが、国産のドッグフードが初めて製造されたのは1960年。協同飼料株式会社がビスケットタイプのドッグフードを開発しました。のちに、日本ペットフード株式会社として部門が独立し、発泡タイプのドライドッグフードが販売されました。近年は、ペットブームとともに、多くのメーカーがさまざまな種類のペットフードを市販しています。</p>
	<p>正) 「日本のペットフードの誕生」 日本初のペットフード生産は、缶詰キャットフード分野では、1950年代(1958年)に「いなば食品株式会社」等によって米国向け輸出缶詰として、まぐろ缶詰の副産物である血合い肉などを利用して行われました。エクストルーダーでのドライタイプは1970年代にはいつから製造され、国内販売されるようになりました。 日本初のドッグフードは1960年にビスケットタイプが「協同飼料株式会社」(後の日本ペットフード株式会社)によって製造・販売されました。その後エクストルーダーでのドライタイプが製造されるようになりました。</p>
P48	<p>誤) ②原材料名 また、公正競争規約では<u>それぞれ使用量の多い順</u>に記載することを定めています。</p>
	<p>正) ②原材料名 また、公正競争規約では<u>添加物を除く原材料を使用量の多い順</u>に記載することを定めています。</p>
P49	<p>誤) ③賞味期限 指定された保存条件で、未開封のまま保管した場合の栄養価や風味が保証できる期間を<u>年月日</u>で表示します。</p>
	<p>正) ③賞味期限 指定された保存条件で、未開封のまま保管した場合の栄養価や風味が保証できる期間を<u>年月日または年月</u>で表示します。</p>
P72	<p>誤) ワクチンの種類 そのほかには以下のワクチンがあります。特に重篤な症状を引き起こしたり、感染しやすい病気を予防するための<u>コアワクチン(太字)</u>を中心にそれぞれの状況に合わせてワクチンプログラムを決定します。</p>
	<p>正) ワクチンの種類 そのほかには以下のワクチンがあります。特に重篤な症状を引き起こしたり、感染しやすい病気を予防するための<u>コアワクチン</u>を中心にそれぞれの状況に合わせてワクチンプログラムを決定します。</p>
P109	<p>誤) 図10 <u>血中尿酸値</u>に対する乗馬の効用</p>
	<p>正) 図10 <u>血中乳酸値</u>に対する乗馬の効用</p>